

平成 2 3 年度

放課後まなび教室

実践事例集

～ 活動の充実に向けて ～

～「放課後まなび教室 実践事例集」作成にあたって～

本市では、「地域の子どもは地域で育む」基本方針の下，地域・保護者・学生等の皆様に御参画をいただき，放課後の子どもたちの「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」の充実を図るため，平成１９年度から「放課後まなび教室」を展開し，今年で５年目を迎えました。現在，全小学校区で実施しておりますが，登録児童が１０，０００名を超え，子どもたちは日々，元気に楽しく学んでいます。これもひとえに，各小学校区の実行委員会の皆様方をはじめ，地域・保護者・学生等，約２，０００名もの学習アドバイザー・学習サポーターの方々の献身的な御支援・御尽力によるものであり，厚く御礼申し上げます。

子どもたちにとりまして，放課後にスタッフの皆様は温かく迎えていただき，安心して学習が行えることは大変幸せなことであり，また，スタッフの方々からも「子どもたちが地域で出会った時も，挨拶をしてくれるようになった」，「子どもたちに接することで逆に力をもらっている」といった嬉しい声も伺っております。「放課後まなび教室」の取組が地域と子どもたちを繋ぐ架け橋として大きな役割を果たすまでに広がってきたことを実感しております。

さて，「放課後まなび教室」は全市で各地域の状況に合わせ，特色ある様々な活動を実践いただいておりますが，この度，運営に携わっていただいている皆様の工夫や成果の一部を実践事例集という形でまとめさせていただきました。子どもたちのまなびの活動の内容を豊かにしていく上で，この実践事例集を有効に活用していただきたいと願っております。また，本年度，小学校の学習指導要領が改訂され教科書が新しくなったことに伴い，算数の計算問題集を作成いたしました。活動の一助として，子どもたちが計算のやり方を身に付け，理解できた喜びを実感し，継続して取り組めるよう内容を工夫しておりますので，実践事例集とともにご活用いただければ幸いです。

今後とも，次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう引き続き力強い御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成２３年１２月
京都市教育委員会

運営の工夫

1 出席確認や参加カードにどのような工夫をしていますか。

- 各自が自分のノートを用意し、そのノートに参加カードを貼り付けて提出することになっています。
- 参加カードを大切に扱わない子どもがいるので、カードケースに入れてあります。
- 参加カードは学年で色別にして確認が素早くできるようにしています。
- 参加カードは学年ごとに分けて箱に入れ、すぐに確認できるようにしています。
- 帰宅時刻をはっきりさせるため、帰宅時刻毎に分けて整理しています。
- 楽しい図柄のゴム印を購入し、出席印にしています。子どもには好評です。
- 出席の確認や連絡のための参加カードに、楽しみをもたせる工夫をしています。
 - ・表紙には最初全員同じイラストの絵を入れますが、2枚目以降は本人が希望する絵やイラストを入れています。内側は、カレンダーの日付などを抜いた表が印刷されており、子どもの参加する日と曜日を記入し、スタッフが参加の確認印を押します。1枚目が終われば2枚目を渡します。
 - ・今年度は改良版として、表紙に京都の四季の写真を入れ、通年利用としました。そのため内側は同じですが、2枚目からは上部を重ねて貼る形としています。



- 表紙に子どもが興味を持つような楽しい図案を入れたところ出席カードを大切にするようになりました。
- 参加カードに「スタッフからの一言欄」「保護者からの連絡欄」を設け、スタッフと保護者とのコミュニケーションを図っています。

2 出席カードを忘れた子どもにはどのようにしていますか。

- 出席カードを忘れた子どもには担任の先生や教頭先生などから参加許可のメモをもらうことで参加させています。
- 学校下校時刻の4時30分までは参加を認めています。
- 保護者の意向が分からないので、参加させないで帰宅させています。
- 未提出が何回か続くと参加させないで帰宅させています。

3 子どもたちが意欲を持って学習に取り組むためにどのようなことをしていますか。

- 学習したプリントを個人毎のファイルに綴じています。学習の積み上げが良く分かり励みになっています。



A校の例



B校の例

- まなび教室の一日の活動を子どもたちが振り返り、評価を書いてスタッフに提出して帰るようにしています。

放課後まなび教室 今日の予定と結果

() 月 () 日 () 曜日

() 年 () 組 名前 ()

* 今日の「予定」をたてましょう。

* 終わりに、結果や反省を記入し提出しましょう。

* 最後まで、しっかり勉強しましょう。

(宿題または予習・復習)

科目名	内容 (ページなど)	できたこと

(読書)

本の名前	読んだページ

(反省)

- 校長先生の似顔絵入りの賞状を渡しました。子どもたちの人気が高くやる気が増しました。



- 自主学習の意欲を高めるため、がんばりカードを作っています。

9月まなび教室がんばりカード

なまえ _____

日 曜日	宿題 何をしました？	読書	自由勉強	プリント	がんばったこと 書きましょう	教室確認 印
5 月		工 作 教 室				
7 水				まい		
9 金				まい		
12 月				まい		
14 水				まい		
16 金				まい		
21 水				まい		
26						
				まい		

*  20個でワンダフル賞

* ワンダフル賞5枚でまなび教室から表彰状をおくります。

4 育成学級や支援を要する子どもへはどのように関わっていますか。

- 担任の先生がまなび教室まで送ってきています。帰りは保護者がお迎えに来ます。
- 子どもを理解するために管理職、担任、スタッフで話し合いを持って、その子どもに応じた関わりをしています。
- まなび教室で学習する教材は、担任の先生に用意してもらっています。
- スタッフはそばに寄り添い、丁寧に話しかけています。
- 保護者が迎えに来た時、できるだけ教室での様子を伝えるようにしています。

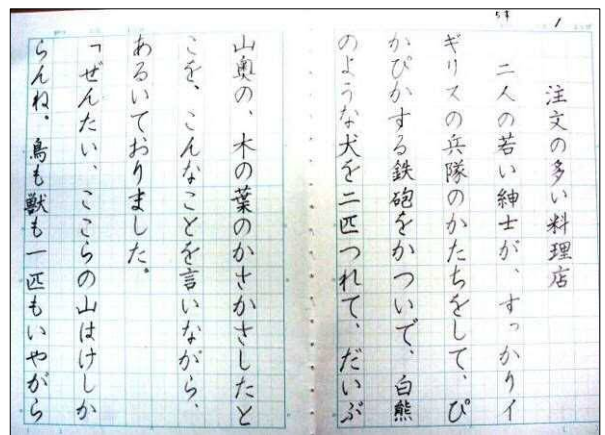
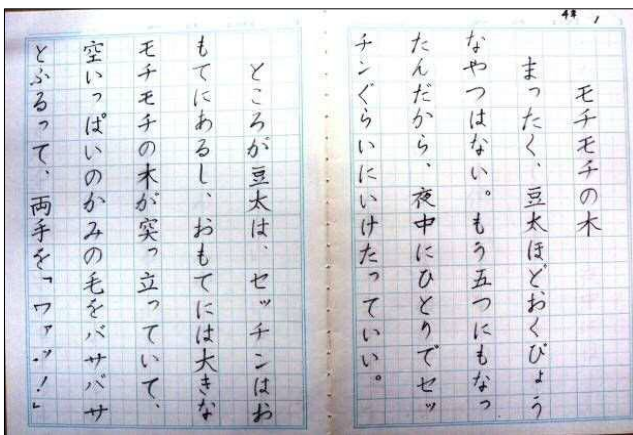
5 その他、運営の工夫がありますか。

- 保護者にまなび教室の取組を理解してもらうために、「まなび便り」を出しています。
- 学校の参観日などで、保護者にまなび教室も参観してもらうよう呼びかけています。
- まなび教室への欠席が続くときは、家庭にも連絡をしています。
- 「子どもは学校と保護者と地域で育てる。」を合言葉にまなび教室を地域のスタッフが中心となって運営しています。また、子どもたちのまなび教室での様子を家庭で理解してもらうため、保護者会を年間数回、実行委員会で実施しています。保護者会の内容は、学年ごとの子どもたちの様子（VTRにて）や家庭にお願いしたいことなどです。
- スタッフ会議を毎月持ち、情報を共有し今後の取組の確認を図っています。
- 気になることはノートに記録し、スタッフで共有できるようにしています。
- スタッフ間で連絡ノートを作り、課題や共有したい子どもの様子を知らせます。また、これを教頭先生にも見ていただき、助言や必要な支援を受けています。（スタッフ会議を頻繁にもてないための工夫）

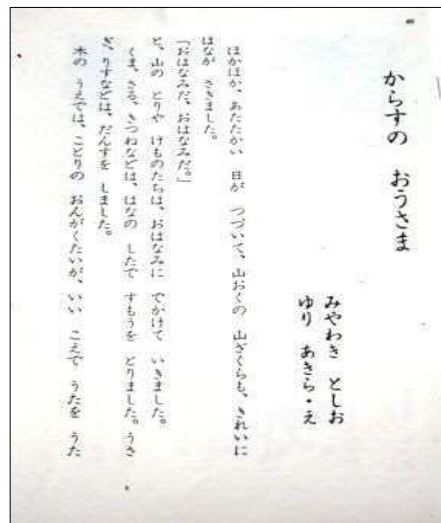
取組内容の充実

1 宿題以外にどんな学習をしていますか。

- 民話や物語をスタッフが選び、B4サイズ縦書きで書写しやすいように手本を自作しました。手本文右側に記入欄があり書写します。宿題などの学習前や後に、1日1ページ正しく丁寧に書くことを基本に継続しています。スタッフが1字ずつ丁寧に丸をつけます。どの子どもも次第にしっかり書くようになり、成果が出ています。1冊できると持ち帰れます。



- 書写文のミニ本を作成し、これを学習後の終了10分前に集まって、スタッフ指導のもと群読したり輪読したりします。子どもたちでお互いに工夫点などを評価します。音読が上手になるよう継続しています。



- 宿題はさせないで、まなび教室用のノートに文章題のドリル（学年毎に購入）を書

き写し、それを解きます。問題数は自分で決めます。漢字はまなび教室が購入したドリルを使用しています。

- 家から持参した問題集に取り組む子どももいます。また、まなび教室で自作したプリントを用意しています。
- 紙芝居や読み聞かせをしています。低学年の子どもには人気です。



- 図書ボランティアさんの協力で、まなび教室での学習が終わった子どもたちに、図書室で低学年を対象に大型絵本や紙芝居・物語などを選んで読み聞かせをしています。今年から始めた取組ですが好評のため、今後、パネルシアターやエプロンシアターなどにも取り組みたいと図書ボランティアさんも意欲的です。



2 宿題や学習終了後も意欲的に取り組める文化的な活動のいくつかを紹介します。

- 読書を中心に活動していますが、スタッフと将棋やオセロなどのゲームをして子どもたちと交流を図っています。
- 低学年ではお絵かきやぬり絵に人気があります。百人一首やカルタなども楽しんでいます。
- あやとりやこま回し、おじゃみなどの伝承遊び。



こま回し

○ 折り紙や切り紙



折り紙



切り紙

○ 工作

- ・宿題を終えた後，工作コーナーを用意し，楽しい工作ができるようにしています。誰がスタッフになってもできるように，次のような簡単なマニュアルを用意しています。

教材名	制作手順	材料，準備物
小枝細工	月桂樹や桜などの安全な木の枝を輪切りなどにし，カッターで削り，ヒートンを差し込み，サインペンで文字を書いたり色を塗って，キーホルダーやバッジ，首飾り，箸置きなどにする。 ＊低学年は，削り，ヒートン付けまでしておく。	木の枝，のこぎり，カッター，ヒートン，サインペン，安全ピンやキーホルダーの金具，ひも
シューズキーパー	布の端切れ（１５ｃｍ角）の真ん中に丸めた綿を置き，ドライのラベンダーなど香草や香木のチップをひとつまみ入れ，麻ひもでくくり，てるてる坊主を二つ（１セット）作らせる。	布の端切れ（１５ｃｍ角くらい），ドライのラベンダーや月桂樹の葉，香木チップ，麻ひも
絵手紙	画用紙をはがきサイズに切り，鉛筆で下書きし，水彩絵の具で薄く色をつける。	画用紙，はさみ，定規，鉛筆，水彩絵の具
百人一首製作	絵札１００枚，字札１００枚を作る。規定のサイズに切った厚紙の表に和紙，裏に色画用紙を張り，カード周りをマスキングテープで貼る。	厚紙，和紙，色画用紙，マスキングテープ カッター，カッター台，はさみ，定規
消しゴムはんこ	消しゴムを小さい立方体に切り分け，年賀状用はんこ（名前，文字，えとなど）を彫る。	消しゴム，彫刻刀，カッター台，鉛筆

○ ペンダント作り



○ 紙工作

どんぐりや木の板でペンダントを作りました。

- ・ スタッフがインターネットから紙工作の型紙をダウンロードして、活用しています。



電車を作りました

○ 手芸

- ・ 学習が終了した後に、興味を持っている子どもが取り組みました。
- ・ 30分から50分程度で仕上げます。作品が仕上がらないときは、次回に再度取り組みます。
- ・ 材料（端切れの布・リボン・紐など）や裁縫道具（針・糸など）はスタッフの持ち寄りです。
- ・ 針は安全のために、スタッフが管理し、常に何本使っているかを把握し、終了時も確認しています。
- ・ 完成した作品を嬉しそうに担任の先生に見せていました。



うさぎ



もの差し入れ



ティッシュ入れ



製作の様子

布

と牛乳パックを使ったオリジナル写真入れ



○お箸置き作り

- ・牛乳パックやボール紙を細く切って、芯にします。それにきれいな和紙を巻き付けて板状にします。それを結ぶような要領で折り込んでいくと、きれいな箸置きが出来上がります。
- ・和紙は購入しても良いですが、これは、スタッフが、近所の箱屋さんから切れ端をいただいたものを利用して、作っています。



○ペットボトルを利用した手作り空気でっぼう

- ・中ぐらいの大きさのペットボトルのふたをはずし、底をカッターで切り落とします。ゴム風船を切ったものを底にビニールテープで止めてできあがり。
- ・口にティッシュペーパーなど柔らかい紙をつめて、底のゴムをつまんではいけば「ポン」と音が出て飛んでいきます。
- ・安全に楽しめて音が出る楽しさがあり、子どもたちは喜びます。材料はスタッフが用意しました。



○フェルトの小物など



- 右上：布で作るおもちゃ 馬
- 左上：なりきりおもちゃ かしわもち
- 左下：フェルトで作った匂い袋
- 右下：コースター

○ランタン作り

- ・ ハロウィンにちなんで色画用紙で作りました。



3 夏休みなどを利用し、どんな取組をされていますか。

○ わらじ作り

- ・ 材料は、古い布、荷造りひもです。布を細長く裂いて編んでいきます。最初はなれない手つきで編んでいた子どもたちも熱中し、一生懸命に編んでいました。夏休みのひと時楽しい活動ができました。



まず布を細く切ります。



ハンガーにひっかけて慎重に編んでいきます。



足の指も使って丁寧に編みます。



素敵なマイわらじができました。

○ マグネット小物作り

- ・ パール粘土と磁石玉を使い、「マグネット小物作り」をしました。（材料はスタッフ側で準備）
- ・ 冷蔵庫や鉄のボード版・机などに貼り付くマスコットマグネットをイメージし、動物や魚・果物・野菜・人形などの形にしました。乾かした後、絵の具やマーカーペンなどで色塗りをして仕上げました。（製作時間は約2時間）

○スライム作り

- ・ スタッフが準備した材料を使い、理科室でスライム作りにチャレンジしました。好きな色水と液体を調合しよく混ぜると、プニョプニョしたスライムができ、いろいろな形を作って楽しみました。低・高学年別に2回実施。出来上がったスライムに食塩水を加えると、これは不思議「スーパーボール」も作れました。



○ パソコンでマイカレンダー作り

- ・ 夏，冬休みのパソコン体験教室で，自分のカレンダー作りにチャレンジしました。作りたい月を決め，自分で色やデザイン，レイアウトを選んだり工夫したりして作成します。印刷後には，折り紙で作った虫や植物・花などを貼り付け，立体的な作品に仕上げました。（P Cの得意なスタッフが指導者となり，当日のスタッフはアシスタント役。低，高学年別に2回実施）

○ 作陶教室

- ・ 地域の陶芸家の先生と大学陶芸部の皆さんにご協力頂き，粘土にふれながら世界にひとつしかない焼き物（カップ・お皿・花器など）を作りました。



○ うちわづくり

- ・ 白紙のうちわに絵柄を付けマイうちわを作りました。



○ ステンシルでハンカチ染め

- ・ 白いハンカチに自分の好きなカットを染料で染めます。



○ 絞り染

- ・ ビー玉やアイスクリームの棒を使って絞り染めをし、自分だけのナフキンを作りました。（給食での敷物、弁当の包み、三角巾に使えます）



○ 浮沈子の実験

- ・ プラスチックの小さな魚の容器（お醤油が入っている容器）に少し水を入れ、小さな六角ナットをおもり代わりにつけます。それを水を入れたペットボトルの中に入れて栓をします。ペットボトルを押さえたり離したりすると、あ～ら不思議… 中のお魚が下へ行ったり上へ行ったり……。
- ・ これは、お魚の中の空気に圧力がかかるから。遊びながら科学を学びました。【油性マジックで中のお魚やペットボトルに色を塗ったり絵を描いたり、絵の具で水に色をつけたりすると…楽しい水槽ができます。】



○ ディスクを使ってコマ作り

- ・ 古いCDやDVDのディスクを使ったコマ作り。ディスクのキラキラ光るきれいな面に、油性マジックで思い思いの模様を描きます。周囲をはっきりとした色で縁取ったり、幾何学模様を描いたり……。次に、真ん中の穴にビー玉を差し込んでボンドで接着するだけ。ビー玉にも色を塗り、乾いたら回してみよう…。回しても飾っても、と～ってもきれいなCDコマの出来上がり。（製作時間約1時間）



○ 校内ウォークラリー



○ みんなでそうじ

- ・ 特別な活動の後や学期末などの節目で教室の掃除をしています。
- ・ スタッフからほうきの使い方や雑巾のかけ方を教えてもらっています。



- そのほか 理科実験教室，あんどん作り，草木染，粘土で人形作り，竹とんぼ，アイロンビーズ，飛行機作り，七夕飾り，盆踊りの練習，ハロウィンの飾り，クリスマスツリーやリース作り，お正月飾り，ちぎり絵，栽培活動など多彩な取組が行われています。



ペットボトルで作ったふうりん